

当院では院内発症の脳梗塞発症の予測因子に関する研究を行っています。

1) 研究の目的

脳卒中の多くを占める脳梗塞への治療として、血栓を溶解するtPA静注療法や血栓回収療法があります。発症早期に治療を開始する必要があり時間的制約があります。

市中での発症脳卒中においてはバイパス搬送システムや病院前評価スケールで迅速な対応が実現されるようになりつつある一方で、入院中患者では原疾患により発見が遅れる事が多く、市中発症脳梗塞と院内発症脳梗塞の比較では発症から画像診断までの時間が長かったとされる。院内発症脳梗塞のリスクを事前に予測できれば、発症時に迅速な対応が可能となります。この研究の目的は院内発症脳梗塞患者の脳卒中医療の質の向上と管理に関する研究を行っています。

(2) 研究対象について

当院を2012年1月から2018年6月30日までに当院で脳卒中以外で入院加療中に院内で発症した脳梗塞患者方が対象です。

(3) プライバシーの保護について

本研究は診療録をもとにした調査ですので、個人情報管理者により匿名化を図りますので、個人を特定できる情報は扱いません。

(4) 研究結果の公表について

研究結果は、医学研究雑誌や学会などで公表される予定です。その場合も、個人を特定できる情報は、一切含まれることはありません。

*この研究の対象になられる方で、「ご自身の検査結果を除外してほしい」と望まれる方は、下記問合せ先までご連絡ください。

お問い合わせ

本研究全般に関する問い合わせ先
聖マリアンナ医科大学神経内科
住所 神奈川県川崎市宮前区菅生2丁目16-1
電話 (代表)044-977-8111
担当 伊佐早健司